KDK Research Report 2023

2023年度 京都大学 電波科学計算機実験 共同利用研究成果報告書

京都大学 生存圈研究所

はじめに

「2023 年度京都大学電波科学計算機実験装置(KDK)研究成果報告書」を お届けいたします。

全国共同利用研究機関である京都大学生存圏研究所では、1993年度(平 成 5 年度) より、宇宙プラズマおよび超高層大気中の電波科学に関する 計算機実験のための専用計算機システムとして、「京都大学電波科学計算 機実験装置(KDK)」を導入し運用を開始しました。1998 年度(平成 10 年 度)には、計算機実験の更なる発展に寄与するため、「先端電波科学計算 機実験装置(A-KDK)」を導入し、2003年度(平成15年度)のレンタル更 新では、512 GB の共有型主記憶をもつスーパーコンピュータからなる新 しい A-KDK を導入しました。2008 年度(平成 20 年度)には、2.5 ノード 分(1ノードあたり1TB)の共有メモリ型マシンを京都大学学術情報メディ アセンターと共同調達し、吉田キャンパスに設置しました。2012年度(平 成 24 年度) には、超並列計算用のシステム A、小中規模の並列計算用の システムB、共有メモリ型並列計算用のシステムC(1ノードあたり1.5 TB) の 3 つのシステムからなる装置に更新し、多様なモデルの計算機実験が 効率良く実行できるようになりました。2016年度(平成28年度)の更新 では、システム A の理論演算性能が約 900 TFLOPS に達しました。当初 2022 年度に予定していた更新は世界的な半導体不足のため遅れ、2023年(令 和 5 年)5 月から新システム B, C が、同年 10 月に新システム A が稼働し ました。

2023 年度は、一般公募のもと専門委員会において採択された 20 件の研究プロジェクトをもとに運用を行いました。短い稼働時間にもかかわらず、それぞれ素晴らしい研究成果をあげていただきました。本報告書は、2023 年度における KDK を用いた研究プロジェクトの研究成果をまとめたものです。お忙しい中、原稿を準備頂いた各研究代表者の方々に心より御礼申し上げます。

2024年3月

京都大学電波科学計算機実験 共同利用・共同研究専門委員会

目 次

1.	粒子法を用いたプラズマ丼	推機の運動論的シミュレーション ・・・・・・・・	1
	西山 和孝	宇宙航空研究開発機構	
	月崎 竜童	宇宙航空研究開発機構	
	山下 裕介	Stanford 大学	
	濃野 歩	宇宙航空研究開発機構	
	張 科寅	宇宙航空研究開発機構	
2.	サブストームトリガー機構	ずのトポロジー構造・・・・・・・・・・・・・・	10
	田中高史	九州大学	
3.	CFD/DSMC ハイブリット	、流体解析と FD2TD 電波解析によるロケット噴煙中	
	プラズマによる電波障害	>測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
	杵淵 紀世志	名古屋大学航空宇宙工学専攻	
	CHARTON, Virgil	e名古屋大学航空宇宙工学専攻	
	森本 貴大	名古屋大学航空宇宙工学専攻	
4.	非定常磁気ノズルからのフ	プラズマ離脱過程の検証・・・・・・・・・・・・	16
	山本 直嗣	九州大学総合理工学研究院	
	桂 直幹	九州大学総合理工学府	
5.	磁気嵐・サブストーム時の	の電磁エネルギー生成・伝送メカニズムの研究・・・	19
	菊池 崇	名古屋大学宇宙地球環境研究所	
	海老原 祐輔	京都大学生存圈研究所	
	田中 高史	九州大学宙空環境研究センター	
	藤田 茂	情報システム研究機構・統計数理研究所	
	橋本 久美子	電気通信大学	
6.	地球型惑星大気流出機構	\$に関する研究:系外惑星への応用・・・・・・	23
	堺 正太朗	東北大学大学院理学研究科	
	関 華奈子	東京大学大学院理学系研究科	
7.	Modified LSC Theory of Te	aring Instability · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	26
	清水 徹	愛媛大学宇宙進化研究センター	
8.	太陽風磁気流体乱流	ひ数値 シミュレーション・・・・・・・	33
	成行 泰裕	富山大学学術研究部教育学系	
9.	地球磁気圏における磁気リ	「コネクションの磁気流体的研究・・・・・・・・・	34
	近藤 光志	愛媛大学宇宙進化研究センター	

10.	レーダーイン	バージョ	ンによる大気擾乱精測技術の開発・・・・・・・	37
	橋口	浩之	京都大学生存圈研究所	
	西村	耕司	京都大学生存圈研究所	
	揣	爾陸	京都大学生存圈研究所	
11.	磁気ノス』ルス	ラスタには	おけるエネルキ 🛭 一輸送と中性粒子か 🛭 推進性能に与える	
	影響の解析・	• • • • •		41
	鷹尾	祥典	横浜国立大学	
	江本	一磨	筑波大学	
12.	地球ダイポーク	ル磁場中の	非線形波動粒子相互作用の計算機実験・・・・・・・	45
	大村	善治	京都大学生存圈研究所	
	殷力	辰興	京都大学工学研究科	
13.	小型天体・宇宙	宙プラズマ	相互作用過程の大規模粒子シミュレーション・・・・・	49
	三宅	洋平	神戸大学計算科学教育センター	
	臼井	英之	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	原田	裕己	京都大学大学院理学研究科	
	西野	真木	JAXA 宇宙科学研究所	
	Ravin	dra Desai	Imperial College London	
	Zeqi Z	Zhang	Imperial College London	
	中園	仁	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	釜江	祥史	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	寺田	大樹	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	宮城	紀花	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	早稲日	田 卓	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	川村	峻介	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	酒谷	龍生	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	田中	唯逸	神戸大学大学院システム情報学研究科	
14.	宇宙飛翔体・	構造物にお	いて電位測定を行うセンサープローブの特性に関する計	
	• = ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			
	算機シミュレ	ーション・		53
	算機シミュレ	ーション・ 伊吹	京都大学大学院工学研究科	53
	算機シミュレ		京都大学大学院工学研究科 京都大学生存圏研究所	53
	算機シミュレー深澤	伊吹		53
	算機シミュレー 深澤 小嶋	伊吹 浩嗣	京都大学生存圈研究所	53
	算機シミュレー 深澤 小嶋 栗田	伊吹 浩嗣 怜	京都大学生存圈研究所京都大学生存圈研究所	53

15.	宇宙プラズマロ	中の高エネ	ドルギー荷電粒子の消失過程・・・・・・・・・・・	58
	田所	裕康	千葉経済大学経済学部	
	加藤	雄人	東北大学大学院理学研究科地球物理学専攻	
16.	無衝突プラズマ	マ中の運動	助論的不安定性に伴う粒子の加熱・加速の研究・・・・・・	61
	天野	孝伸	東京大学大学院理学系研究科	
	寺境	太樹	東京大学理学系研究科	
	福田	悠斗	東京大学理学系研究科	
	Wang	Ruolin	東京大学理学系研究科	
17.	イオン低周波領	質域のアン	テナインピーダンス特性に関する粒子シミュレーション・	64
	臼井	英之	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	三宅	洋平	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	草地	恒史郎	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	深澤	伊吹	京都大学大学院工学研究科	
	小嶋	浩嗣	京都大学生存圈研究所	
	栗田	怜	京都大学生存圈研究所	
18.	電子ハイブリッ	ッドコート	ドによるホイッスラーモード・コーラス放射励起過程での	
	波動粒子相互	作用の計	∤算機実験・・・・・・・・・・・・・・・・・	66
	加藤	雄人	東北大学大学院理学研究科	
	大村	善治	京都大学生存圈研究所	
	北原	理弘	東北大学大学院理学研究科	
	齋藤	幸碩	東北大学大学院理学研究科	
	礒野	航	東北大学大学院理学研究科	
19.	ピックアップィ	イオンのカ	🛮 速機構の研究・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	70
	坪内	健	電気通信大学	
20.	イオンサイクロ	コトロン派	皮動及び斜め伝搬ホイッスラーモード波動粒子相互作用の	
	テスト粒子シ	ミュレー	-ション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
	謝	台凱	京都大学生存圈研究所	
	大村	善治	京都大学生存圈研究所	
21.	月面周辺におけ	る物体の	帯電現象とその計測手法に関する計算機シミュレーション・	77
	栗田	怜	京都大学生存圈研究所	
	小嶋	浩嗣	京都大学生存圈研究所	
	中島	稜太	京都大学工学研究科	
	臼井	英之	神戸大学大学院システム情報学研究科	
	三宅	洋平	神戸大学大学院システム情報学研究科	

22.	髙精細プラズマバブルモ	テルと全球大気圏電雕圏モデルの融合・・・・・	80
	横山 竜宏	京都大学生存圈研究所	
	陣 英克	情報通信研究機構	
	品川 裕之	情報通信研究機構	
	劉鵬	京都大学生存圈研究所	
	湯谷 樹生	京都大学生存圈研究所	
23.	衛星による船舶自動識別シ	ノステム (AIS) 観測のための信号分離技術の開発・・・	83
	西村 耕司	京都大学生存圈研究所	
	北村 一真	京都大学生存圈研究所	
24.	磁気嵐・サブストームに伴	4う磁気圏髙エネルギー荷電粒子変動の研究・・・・・・	84
	海老原 祐輔	京都大学生存圈研究所	
	田中高史	九州大学国際宇宙惑星環境研究センター	
25.	真北に近い惑星間空間磁場	景下における Dungey リコネクションの形状と交換サイ	
	クルとの関係・・・・・	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	88
	渡辺 正和	九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門	
	蔡 東生	筑波大学システム情報系	
	藤田 茂	情報・システム研究機構	
		データサイエンス共同利用基盤施設	
	田中 高史	九州大学国際宇宙惑星環境研究センター	
	畠山 将英	九州大学理学部地球惑星科学科	
	上西園 健太	九州大学理学部地球惑星科学科	
26.	電気推進機放出プラズマ	環境中の宇宙機周辺電位構造解析・・・・・・・・	94
	村中 崇信	中京大学工学部・大学院工学研究科	
	水谷 悠貴	中京大学大学院工学研究科	
27.	水星磁気圏の 3 次元大域	的完全電磁粒子シミュレーション・・・・・・・・	98
	蔡 東生	筑波大学システム情報工学研究科CS専攻	
	Sri Ekawati	筑波大学システム情報工学研究科CS専攻	

2023年度 京都大学電波科学計算機実験共同利用 研究成果報告書

発行年月日 2024年3月発行

編集·発行 京都大学 生存圈研究所

電波科学計算機実験専門委員会

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

電話: (0774) 38-3844

編集者 海老原 祐輔 印刷所 レイメイ社

著者権は全て著者が有します。著作権法上認められている場合を除き、著者に無断で転載、再利用、翻訳をすることはできません。許諾は著者から得てください。

The author(s) retain the copyright of his/her/their report. Unless authorized by Copyright Law, reprinting, reusing, or translating material from his/her/their report is prohibited. Ask the author(s) to obtain permission.